

生涯大学校開校式・生涯大学院入学式

# 新しい学び舎で 気持ちも新たに



初めての講義に耳を傾げる新入生

高齢者に学習機会を提供し、その生きがいをサポートする生涯大学校の開校式が5月18日、囲護台に新設された同校で行われました。新校舎は平屋建てで、最大200人の収容が可能。各教室間を車椅子で移動することもできるバリアフリー構造になっています。当日は、96人の在校生がこの新校舎で新学期を迎えると同時に、30期生77人の入学式も行われました。新入生たちは配布された資料を手にとって隣り合ったクラスメイトと見せ合うなど、興味津々な様子で学習内容を確認していました。



生涯学習の拠点となる新校舎

## ウィスコンシン州女性のつばさ

### 成田中・成田小で交流

千葉県と姉妹県州の提携をしているアメリカ・ウィスコンシン州から「女性のつばさ」代表団9人が5月16日、成田中学校と成田小学校を訪れました。団員は両校で行われた授業を見学、英語の授業では特別参加して子どもたちと交流を深めました。代表団の団長で、ウィスコンシン州商工会議所のジェニー・J・リターさんは「子どもたちが積極的に参加して作り上げていく授業を見学できて良かった」と話していました。



グループごとに代表団を歓迎



代表団の皆さんに英語で質問



サッカーをはじめ、11種目で優勝

## 第52回千葉県東部五市体育大会

### 成田市が昨年に続き総合優勝

成田、旭、匝瑳、香取、銚子の五市による「第52回千葉県東部五市体育大会」が5月20日、匝瑳市を会場として行われました。成田市は、25種目中、ソフトテニス・卓球(男・女)・バレーボール(婦人)・バスケットボール(男)・バドミントン(男)・ゴルフ・テニス・サッカー・ゲートボール・空手道(男)の11種目で優勝し、昨年に続き総合優勝を飾りました。

## 消防団協力事業所表示証交付式

# 市内6事業所に 表示証を交付

市消防本部は5月15日、消防団協力事業所表示証交付制度に基づき、市内6事業所に表示証を交付しました。同制度は、消防団員の大半を会社員が占める現状から、消防団に入団しやすく活動しやすい職場環境づくりへの協力を企業に呼び掛けるため総務省が今年1月に定めたもので、成田市は県内で最初に制度化。今回交付を受けた各事業所は、従業員の消防団活動への従事に協力的な点などが認められました。市消防本部では、今後も協力事業所への表示証の交付を行ってまいります。

### 協力事業所

成田山新勝寺・米屋株式会社・成田市農業協同組合・株式会社ナリコー・TDK株式会社成田工場・ナリ夕管工株式会社



消防長から各事業所に表示証を交付



協力事業所はこの表示証を  
掲示することができます

## 国際交流講演会

# 下町旅館の外国人交流

国土交通省選定の観光カリスマ(下町の外国人もてなしカリスマ)に認定されている澤功さん(澤の屋旅館館主・台東区)を講師に迎え、5月20日、国際交流講演会が市役所で行われました。(主催は市国際交流協会)「下町旅館の外国人交流」をテーマに、澤さんは外国人客を受け入れることで小さな日本旅館の建て直しに成功したノウハウを紹介。各国から訪れた外国人客とのユニークな交流話に、会場に詰め掛けた約130人は興味深そうに聞き入っていました。



自らの経験談を語る沢さん



カリスマの話を知ろうと多くの聴衆が



ネット際の熱戦

## インディアカ・ソフトバレー親睦大会

# ニュースポーツを通じて 健康づくり

インディアカとソフトバレーを通じた市民の健康づくり・体力づくりを目指し、5月20日、市体育館で親睦大会が行われました。市内外から42チームが参加した今回の大会では、各競技ごとにチーム総当りでネット際の攻防を展開。参加者は「バレーボールやバドミントンと比べると玉のスピードも早くなく、プレーヤーの人数の割にコートも小さいので初心者でも十分楽しめます」と話していました。